

に い み し 新見市



○ 新見市の教育

小規模校の多い新見市では、少人数の強みを生かし、地域ぐるみで子どもたちの学びを支えています。中でも、ふるさとキャリア教育とICT教育に力を入れています。

ふるさとの資源(歴史・産業・自然など)を積極的に取り入れたり、先進的に行ってきたICT活用教育でドローンプログラミング学習を推進したりと、これから求められる教育の最先端を目指しています。

何より、素直で素朴な子どもたち、優しく熱心な先生方、教育の原点がここ新見市にあります!

働き方改革推進中!!

新見市では、教職員が心身の健康を保持し、誇りとやりがいをもって元気に児童生徒に向き合えるよう取組を進めています。

- ・ 定時一斉退庁日の設定(毎月第3金曜日)
- ・ 学校閉庁期間の設定(8月10日~16日、12月28日~1月3日)
- ・ 部活動休養日の設定(週3日以上)
- ・ 17時頃最終下校(R8~全中学校で通年実施)
- ・ 地域と連携して登下校の安全確保
- ・ 勤務時間外の電話・窓口対応時間の制限

○ ICTを活用した指導力と情報活用能力の向上

ドローンプログラミング教育推進事業

新見市では、10年以上培ってきた知見を生かし、ICT機器の活用、プログラミング教育、学習保障、遠隔授業、情報モラル教育等を柱に、ICTを主体的な学びに生かす授業づくりの実践を継続しています。

中でも、プログラミング教育は他市にはない特色があります。令和5年度から地元企業と連携し、「ドローンを活用したプログラミング教育」を県内で初めて市内全小中学校に展開しています。プログラミング教育を通じて、「粘り強さ」や「自己調整能力」といった「非認知能力」の育成を目指し、日々研究と実践を重ねています。



ドローン
プログラミング教育

新見市観光スポット

○ 先輩教員からのメッセージ



恋人の聖地 満奇洞
「恋人の泉」

一緒に頑張ろう!

新見市は、千屋牛やピオーネをはじめとした「食」や先人から引き継いできた誇りある「伝統・文化」が存在する街です。私が過ごした新見市での1年間は、本当に多くの学びがありました。豊かな自然と古代から続く歴史が融合するこの街で、のびのびと育ってきた生徒たちを前にして、少し緊張することもありましたが、目の前の生徒たちや同僚の先生方、そして地域の方々から支えられている実感を胸に、日々の教育活動に励むことができています。

教員として仕事に打ち込むことは大切だと感じていますが、休日にはサッカー観戦をしてリフレッシュしています。学校閉庁日も設定されているので、休日の計画も立てやすく、公私ともに充実した生活を送ることができています。「やりがい」を感じる基準は人それぞれだと思いますが、この街は教員として本当に大切にしたいものを気づかせてくれました。そんな新見市で、私たちとぜひ一緒に働きましょう!



新見第一中学校
教諭 松山 侑樹



にーみん

[基礎データ] (令和7年5月時点)
人口: 25,073人
学校数・児童生徒数:
小学校 15校・938人
中学校 5校・542人

[相談窓口]
新見市教育委員会 学校教育課
〒718-8501 新見市新見310-3
TEL: 0867-72-6146
<https://www.city.niimi.okayama.jp/>

